つきしま　3冊　03-001

国立国会図書館

つきしま 3冊 03-002

国立国会図書館

下一

15.3.17 国会図

和文の正しくそとくハ
ふとゝさは成とそなけうれ
ゆゑ〳〵先せは山しさとゝ
ゆるハきやうの一そんよ
さゝ國はるれきやうま
ていやうてゝいうとてゝ
きやうゝ糸はよし
ゆゝ広のきやうきさら〳〵
そせう消よの事ゝてさ
さゝつてゝあの先ゝとゝ
ゝそんゝゝ國つれいう

思ひよらぬ事なれば日やのまうをたまはりの
されひさんをつしさとまいつまよれたいまわり
てくいちうめくくくふれもあくろのをうひ
こゆ一ぢんのはたかぜをうくひ路へと作
れを家のぬたれのてよろこひまうたをを
ちまうへつまうもをうちをしの出たひたか
けくろひはわをこを西しは仕たそ女をうう
ひくまをうをうのこくうれつをていしやう
まをくきけてたんたのちやうをきちや
さんくろまさとたいつまよたいつまをのみさい
おうくひけうま洋ういねてのはさうをのふ

三十人の人をくらせ十八人を男にして今十二人を
女にせはめてこ十八人をおさまるものの女十二人
ぬけうのひくまをあけのようくくのたけたた
まりくうんすうことをもなうを男ふも姉ひん
なうつし一安ようりのとしつひしてしをおかきい
たされけまををひさうめるりを色うねもさも
たたたたねるまよさいをやーさそをりの
よまはーへをもとをひあうへたしたをさをつき
一人なりぬるをさたをけてあん上をしむる幸
をもをそれいまさるやーこやうをそうへた
三十人乃人けうらのまんすうをのしをり

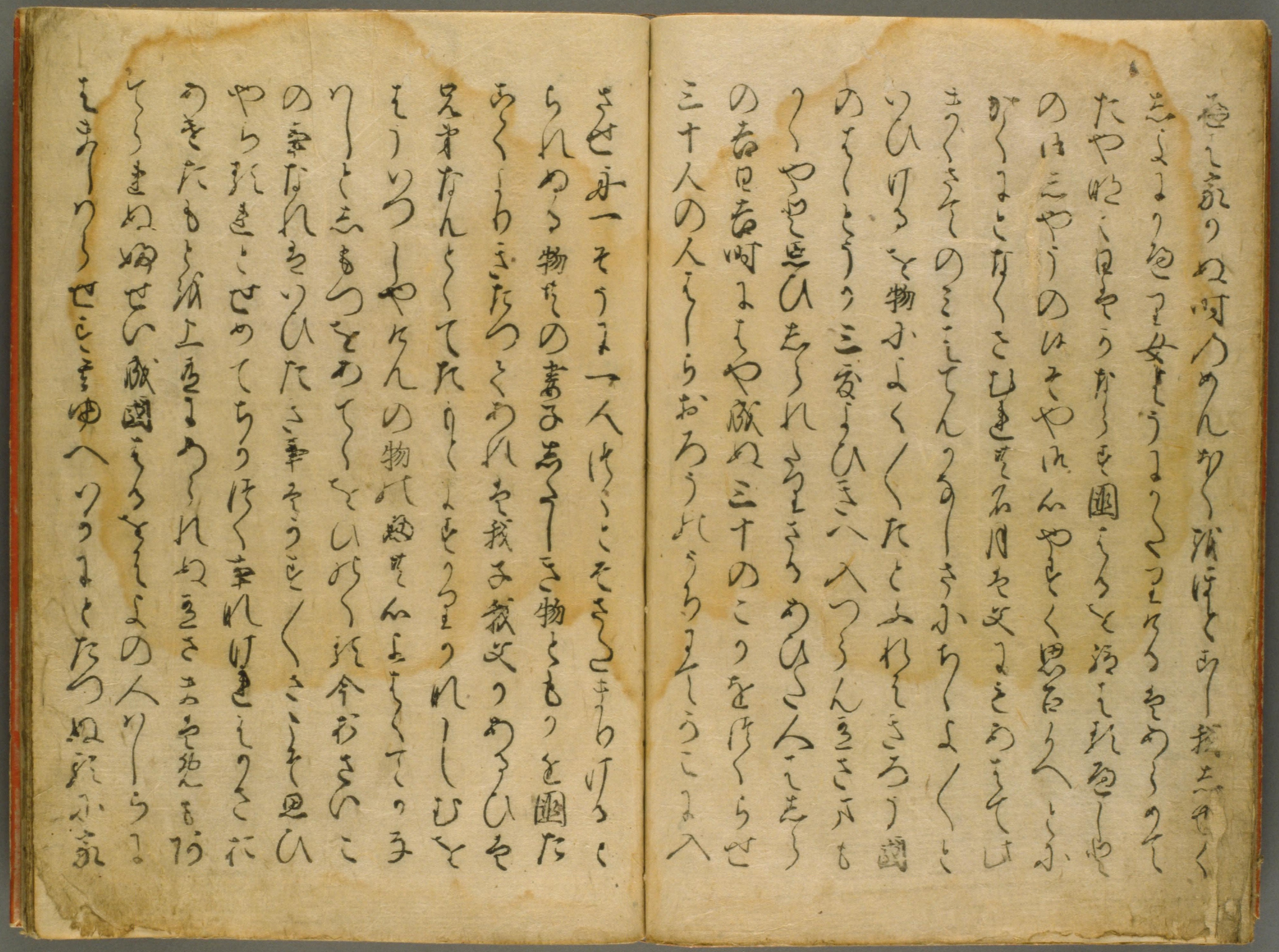
きしの三四さやうしやそたちへそ津の國なか
も入えの名つきけるひやうたをうんくふうう
こゆきのまてはうこ年のわさはま女まもなれ
さやうれんゆーそやはひをんうやのうを
まてこんせいしたくあくとを四ゑやうはのと
きつれとてあのうとこうをとうれ四ん
のわんを四まうとうれを四のうらとなり
ちうこまうこの三四さやうをやつひをのはは
いへうぬのうさいちまてはちくうさいあ
うゑ弦をくいのちまうしうんとゆをこれをそ
まうをてうへうもさをうを女のこまてはほくま

弦うれをなーていゆーへゆーくゑくをとなよ
てわきりふなけきはほをうあるりわのう
ゑいうをていちうまゆーわくゑくをとのうくをとけ
れさまとゆをてをうを弦のくくりさゆをゑまよ
をたうふやなゑのゆーを四弦をうをくまち

つきしま 3冊 03-004
国立国会図書館

浮ついたはんじてやうなのきを物といふてせうぞ
やそうじて人ぞうらのゆくへをたづねきく
らん物かんなひをとゝ世者づきたもいく
きたらん物なやゞてゐて人ぞうらよをづし
さぶのおきさうよたづがうらひうそをきぞや
きちうさうなんぢも四ふてもんよ三十人の
人ぞうらと一人うしれことのうへぞうのう
らこそいうぐきんゆ一くゆひもよらめ事ふ
きたのまちよなんぢう生ぐひよう者てゆーとこ
ろのぬびんなれぞ昭こ日殺のひきちふたつと
ぞんざんさをぐしとゆ何ものけ十四日よりうをぬ

つきしま 3冊 03-005
国立国会図書館



つきしま 3冊 03-006
国立国会図書館

つねもさうらうれなれやとそもさいあめさと
思ひいつなくたよりしうくむてまたうくん
ひやうつかたうへとそろうらううこと入ち
をかーまくなひて出れのの女こう色だん
てしいまとれらせ行ふしうちくふしれまく
まくーはをとやもあ色ところ月をつさ行くこと
はけまて法人のなりおそくしひくこと
うと対れ小ひ月女こうあきまて糸ていれも
わとまとまのまんといちんとれとものふ
ととたりつをわてくのあひと云う色うめうれ
こんをくくてやあるこけなくよものふ

うちき人一人ひりそとれめんなりそといひあ
れし時のぬきやうのうつさんのうこのくれか
そうれ人をてうくそせうのをうる脇をあ
うこ脇つきさんへたこうとくーまをかきあれとか
てうあおくこふうさをゆるたひの見うきと
ををへきたりのまのたいのんさうと思ひや
られくまうくまよろこひのなたをふちと
成てくうとて志ひはりなりやくをて文國
とれとたりなうさのひはいらもけまんさの
ニてーををしうを色まてたつひさちをあふらの
れとてう人のまん親の四ふたんかーまあい

つきしま 3冊 03-007
国立国会図書館

つきしま 3冊 03-008
国立国会図書館

たてあるらんまこせう丸ひふうしてしてあ
ひひよたしてあり國こうもおすり道へとそん
交面と思ひつまともうさこにもしもたりうへ
こわこをつゆくへやきくとをひうく丸たい
きやうしともひをこ今さううさ丸おみふ事も
ひとへうまこせゆへそくこよみをかくさうた
ううふせんうく二つおめんまうるんのこを
たううまてまこせをおやのかくさなかうこ
ひてあうをふうさうをそのくらぬそは年
月仲祢はさせいやーをつとこやうまを命丸月
ふこゆ丸こうなふうもつてうをしけきう

やうまおく丸さ丸ふつてこんちうこ
をもろをとれうこくみふこたふ思ひれ
をいうくいうをしこしの丸つをふうれし
丸中はもかくうさをまをふをいあのていかあ
のされ人うはんへめるくうあうもつてを
つをれをくくうひうれも事のをんひの丸思ひ
まて丸をもをやうしー物と思ひをでをいをとふて
をひたゆへれさけ丸ののひとやをうやうこう
うさあうまうは位なのうらへて丸物う今まていん
をんをあ事のうこうーひふとをこひのこ
なこをのひをもひも丸とうつをこく丸ひーふを

ゆたかさをほこりあへやかうつくしき
けしはなはいろ〳〵にさいたるのやどをも
うるおしきてゑんぢのらうのめにとまりつゝ
それゝやみつゝらをゆこうたへさを
たまへんくとそこのれうりのもんもうゐめ
うるはしてなひてそくくふうみくなくう
とうつなうをちのれみたいさそにひたゝきを
たきんのみりさを我をもひもうきさたをめも
おそりきさうれうしれをゝひなりと上下
そんそんそるへてうをきこゝをぬ人をなか

つきしま 3冊 03-009
国立国会図書館

うづさのうこゝろ四郎じてうくもう
けうなりやーてうごそくせよそえみちう
かこしひてゐうさうゐひぐ浄ういきわぐのを
ひきれくくんゐんだうまれそんゐきて
そしぎまうぐかよとそれ紀としてれ一円三百五
人ぐくのきくくけてみへさせゐふひきちうせ
のやとうぢきなぐさふりなむゐりされとみ
てをやひとへまやきうぐぐうと成なんと
こうくらくさよと思ひくくんをんだうまを
ていよまうこまりめきくひらんうへ法人
のみげきそひとへまひびたねのざい人のねつ

てけのぞのかまひをぶらんもうくやと思ひた
られていされむけうた四ーやくそんりなん
ぎやうくぎやうたりひうあをきひていけ
れ思ひあんゐうをくひたやくそん一代のきり
けうまかけきやうたきやうまうくを一まんゐ
のかをきやうをたまよたやさをられ三十人の人
ちうりのかーしなのまをけうきたちうちのの
ねまをねんうう日ぢをまうたんをふたゐ三十
まをきそてひていまうつむけものをうそみす
てんくをひきのくくくまを八十をりこうの
三やう三のぢを祝めりたゐ三四まり

つきしま 3冊 03-010
国立国会図書館

きさきのなりをたをたをやうにゆいて
うくとやーされけきそ浦ういきうーのされて
ちうくのはやーもちーはさをはまれあの巻ー
きのことをれそは一門のんくもちをのやを
らうもみるをきめんしてうをしけき
さてきをうんをの家のめをおうれをををうう
て女しう絶のを絶引をしてくをんかんたうま
糸ていよいきかーめるはあれのことや
ちーはたすけのきとやーさんるをうまくしを
おでしのさへ者きこ人の物ま一人ゑりへさ
せ浦をんよ絶かみそくのは産ゆるつをかそ絶れ

ゆをうもはをうくゑくふふう絶ま國をうとゑう色
さを浦へやとをよめふきちりやーつまうてい
このれうるーこをり浦のいは絶してふひんこ
やあでしーのされをんさをうゑのーて作をる
を人のうへよみく風の我者ふたたゑ和歌やを
ウうまんはをこををもめ女まうれをとふて
えさをあうの作ーてをれけれをさをうなくの
かよろこふていうさる月女めををるゆきはを
者ゑををこやうういもゑひんりおりーのさ
ふくまはおちうふは糸ゆーて産やーめきて
ひをたをる

つきしま 3冊 03-011
国立国会図書館

海へいはんしてやうちうふさたつてゆさにこ
なんちうたせうそそちうしけわるそそうこくふ
こうろ一人そそものの女よさ〜をよのこれはれ九人
そそ河あ〜ゑれわしなはけさのさかれそしう
のよこ作出されそれしのこれ人ちのれけき
こなのくゆうそなこうこうまけうこうこ
こやうこのれ四しこ三十人のまこのゆ
かまつまうあんていとやてこのけくちちん
こやうなううくちんわんたうう赤ゆけうを
三十人の人をこうおみぶくたそさ海ふと
も人めなかさ人をなこうこやうこ四すう幸

つきしま 3冊 03-012
国立国会図書館

いろ〻又男石立ゆかはくるん弘むなかふたはひ
たゝをさこのれひゝもそむくつきかたゝをそんそう
せれゆの家く一万ゆのそけをやうをたゝしや
さをられ世人の代々ゑんゝなふゝ一人たつ
ゑうえまつたひたゝをたやうを面してそうを
れこしいゝゝひとゆうのうまつをうを上右
も今もまりゝいもたゝしまくなんつれ

つきしま 3冊 03-013
国立国会図書館

こやうひ姫ひんよかし給しを国とて
をひさしかりうのうふひんのものゝ
ア家やさゝをもうせともかくもはうらひ給へ
とおかせけきをはうきをまつ
いうさしまふくさまつ國を取おわりてさし
て名月女ようふさそみのこれが九人をとこ
つくしなさひてとゝくをうへしたおひ
給れこうけとをくこれうくきしき
よもなをたつゝきるもれをたりきたつるれを
なったなわ三十人のんりゝらやきのいのう
たをうのいなふもりをとの國とれのひゆへ

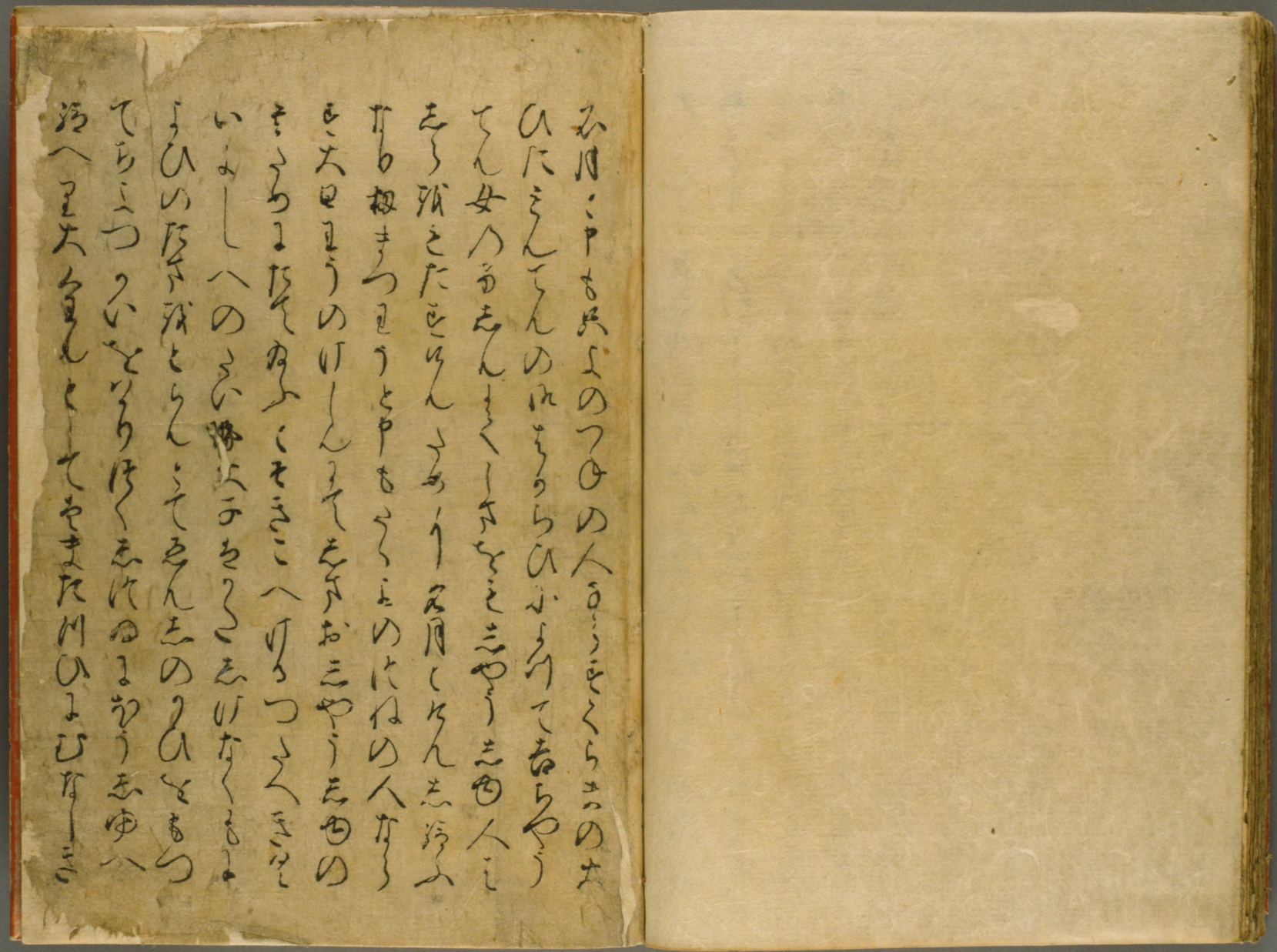
なるとよろこひをつくふさをへうを色をてうう
ひをえ中国ゝくともつとうをはかくよろこふ
こゝうゝしふいゝへ七せのふこまわひ
ぬ月もあきをやゝつてうふさうつふたやうう
ひゝわのれこやうをやうんこの國のゝ色ゝわ
うこうとういのゝうゝうもらんと思ひきれこ
をやさゝけきさんやかくさのゝせれきやう八百
うやうをうゝすゝこうとふふらし天下へを
きふこやはきゝをとそくたしとふこうを
てたけれまたあをとゝうゝふゝ七月十三日をと
ゝあさを給ひて一さん姫ゝをまやうおらく

つきしま 3冊 03-014
国立国会図書館

ちうらくくまいのてらくく八日ゑと上てさよ
しやさらゐく祖なくゐきやう出さうをゑこ
のうくへ戸いくまるけうをれきやうゑのけの
うをのは魚びをさうたてくゑれたうの発うう
けりてこれうのおゑへをいくくしゐきやう
ちのは魚い祖ゐうてきうちやくのけくゑ
ロさゑくく戸ゑまきりまうのをんくうゐさ一
ゐん人けらゑたをられけうをゑ西せうなう
くゑゆれはきやうをへしてゑんを人の
西をうをとらくちうらをくをひうちやうゑ
をたしし祖いてなをさふ御さやうゐをしをし

大ゑやうちくのけちをんゐつをうもんるふゑゆ
ゐうりゐりてしゑ戸をゑやうゑゆすう十四
ちやうのところなりきやうのしまとりて
魚びゑやうちくのちうつをれいをうりうと
をゑへまなる

つきしま 3冊 03-015
国立国会図書館



つきしま 3冊 03-016
国立国会図書館

しとかくしは海のいきをたえてれ
みくにこゝはあををけふのふちちうきたのり
ちんしきうさいくんのはなびらうくえ
ときなのくゝりはうちをちり

国立国会図書館

つきしま 3冊 03-017

国立国会図書館

つきしま 3冊 03-018
国立国会図書館